

科目コード	N310
授業科目名	小児看護学実習
授業科目名(英文)	Clinical Practice in Child Health Nursing
講義室等	実習施設
学科	看護学科
対象学年	3年
開講学年	後学期
必修・選択の別	必修
単位数	1
時間数	45
該当ディプロマ	◎看DP-2、看DP-3
学科	
対象学年	
開講学年	
必修・選択の別	
単位数	
時間数	
該当ディプロマ	
担当教員	中村 恵美
授業の概要	乳児期から思春期までの発達段階にあり、急性期または慢性期の経過をたどる患児を受持ち、指導・助言を得ながら看護過程を展開する。看護実践では、身体、心理、社会、成長・発達の側面から統合的に健康障がいをもつ対象を理解し、子どもとその家族が可能な限り日常に近い生活を送ることができるように援助することを目指す。また、カンファレンスを通して、より良い看護を探究するとともに、グループメンバー間で学びを共有する。
授業の到達目標 (学修効果)	1. 子どもや家族が必要としている看護師の役割を見出し、援助的人間関係を築くことができる。 2. 健康課題、日常生活、成長・発達の関係性の視点から、子どもと家族の全体像を捉え、状況に応じた看護を展開することができる。 3. 保健医療福祉チームにおける看護師の役割を理解することができる。 4. 積極性および協調性をもって実習に参加することができる。
予習復習の所要時間	実習時間45時間+看護過程の展開に応じて、事前学習および実習記録のための時間を要す。
成績評価方法	事前学習、看護実践力、実習態度、実習記録について、「小児看護学実習評価表」に基づき総合的に評価(100%)し、60点以上を合格とする
教科書	①奈良間美保 他著「系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学[1]小児看護学概論小児臨床看護総論」第13版(医学書院) ②奈良間美保 他著「系統看護学講座 専門Ⅱ 小児看護学[2]小児臨床看護各論」第13版(医学書院)
参考書	適宜必要な文献を選び、使用する。
その他	*詳細については臨地実習要項及び実習の手引きを参照すること。

		実習内容・実習場所	実習の形態	実習担当者
1	第1週目	1日目：(AM)学内オリエンテーション/病棟オリエンテーション、情報収集、(PM)病棟実習 2日目：(AM/PM)病棟実習 3日目：(AM)病棟実習、(PM)学内実習(医療安全カンファレンス) 4日目：(AM/PM)病棟実習 5日目：(AM)病棟実習(事例検討会) (PM)学内実習	・臨地実習指導者(病棟看護師)と共に看護実践を行う中で、対象の全体像を把握し、看護問題と看護の方向性を明確にする ・医療安全カンファレンスを通して担当患児に起こりうる事故を予測し対策を講じる	中村 恵美
2	第2週目	1日目：(AM/PM)病棟実習 2日目：(AM)病棟実習(テーマカンファレンス)、(PM)学内実習(実践検討会) 3日目：(AM/PM)病棟実習 4日目：(AM/PM)病棟実習(実践報告会) 5日目：(AM/PM)学内実習(最終カンファレンス)	・対象の看護計画を立案し、日々の行動計画に基づき、実施/評価/計画修正を行う ・カンファレンスを通してより良い看護を探究すると共に、グループ内で情報を共有し学びを深める ・2週間の看護実践を振り返り、今後の課題を見出す	中村 恵美